

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ



2019~2020 年度
国際ロータリーのテーマ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
- ◆会 長 / 前田 博志 ◆副 会 長 / 渡辺 頼雄
- ◆幹 事 / 黒澤 明男 ◆ガバ広報・情報委員長 / 新藤 修一

NO. 1478 令和元年11月5日



◆点鐘	前田 博志 会長
◆SAA	鴨下直哉 委員長
◆ソング	君が代・誕生日の歌

◆誕生祝

掛川興太郎会員・中河邦忠会員・黒澤明男会員
小林秋生会員

◆結婚祝

小林 秋生会員・泰子夫人
美齊津 明会員・寿美江夫人
新藤 修一会員・由紀子夫人
望月 完会員・さち子夫人

◆皆勤祝

小林秋生会員 15 回

【会長挨拶】 前田 博志 会長

【地区大会報告】

皆さん、こんにちは。

先週は、小諸クラブとの合同夜間例会、ご苦労様でした。見事な運営をして頂いた鴨下委員長、そして、ゴルフ大会圧勝に寄与して頂いた矢島さん、望月さんに感謝申し上げます。

今日のプログラムは、10月26日・27日の地区大会報告です。あらためて、参加して頂いた会員に感謝します。ご苦労様でした。有意義で、そして楽しかったですね。

さて、話を変えてみましょう。

皆さんは、NHK大河ドラマ「いだてん」を観ていますか？放送開始当初から、時代が行ったり来たりで混乱して、(と言いますか、クドカンが面白がってそうしているような気もしますが)分かりにくく、視聴率が一桁台に落ちて、大騒ぎになりました。私は、最初から欠かさず観ています。力作ですね！力いっぱい。素晴らしいドラマだと思っています。

すごいですね。登場人物は、田畑も加納も平沢も、全員が毎日毎日、日本にオリンピックを持ってくることだけを考えている。いつも日本のこと、オリンピックの事だけを考えて日々邁進していきます。毎日、私の事、家族の事、自分の会社の事。一生懸命考え続けていく私達とは一線を画します。胸が熱くなりました。

話を戻します。

地区大会。国際ロータリー会長代理水野功さんは、講演の中で、「ゾーン」の話をしました。恥ずかしい話ですが、ゾーン初めて耳にする言葉で戸惑いました。でも水野さん

は、会員を増やさなければならない、クラブ数を増やさなければならない、ゾーンを維持できないぞ、とおっしゃられました。

調べてみました。世界は34ゾーンに分かれています。私達日本はゾーン1、ゾーン2、ゾーン3をもらっています。2600地区はゾーン2にいます。 Guam・ミクロネシア・北マリアナ・パラオも一緒です。ビックリでしょ！

私達は、今日の私の生活を考えられています。家族の事を考えられています。このクラブの21名の会員を何とか22名にしようと考えています。2600地区は今は長野県だけで構成されていますが、過去には愛知県と一緒に地区を構成していたことを他人事の様には知っています。しかし、それ以上には、思いが及びません。2600地区を真剣に考えているガバナーがいて、日本の3つのゾーンを真剣に考えている会長代理がいる。すごいです。

水野さんは、「ホノルルで開かれる国際大会で会いましょう！アロハシャツ姿のマローニさんに会いに行きましょう！」と締めくくられました。

私達も過去には新井さんに連れて行って頂いてアメリカ大会に参加しました。

すごいなあ。水野さんの話は新鮮でした。

【幹事報告】 黒澤 明男 幹事

1. 日台ロータリー親善会議福岡大会案内
日時 2020年3月6日(金)
場所 ホテルニューオータニ博多
2. 松本ロータリークラブ地区大会事務局より
2019~2020年度地区大会礼状
3. 東信第一グループ 山浦俊一ガバナー補佐より
ガバナー補佐事前訪問礼状
4. 小諸青年会議所より忘年会案内
日時 12月7日(土)18:30~
場所 音羽
5. 例会変更

佐久コスモスRC	11月11日(月)	定刻受付ありし
	12月23日(月)	定刻受付あり
	12月30日(月)	定刻受付なし
千曲川RC	11月20日(水))	定刻受付なし
東御RC	12月18日(水)	定刻受付あり
	12月25日(水)	定刻受付あり
	1月1日(水)	定刻受付なし
	1月15日(水)	定刻受付なし
	1月22日(水)	定刻受付あり

上田西RC 11月21日(木) 定刻受付なし
 12月12日(木) 定刻受付なし
 12月19日(木) 定刻受付あり
 1月2日(木) 定刻受付なし
 1月16日(木) 定刻受付あり
 1月30日(木) 定刻受付なし

【本日の配布物】
 週報 1476号・1477号

◆出席報告 両川 博之 委員長

会員数 21名 出席義務者 21名 免除者 0名
 本日 出席 15名
 事前 MU 0名 71.43%
 前々回(10/15) MU 0名 71.43%

◆ラッキー賞

NO. 8 橋詰 希望 君

◆ニコBOX 鴨下 直哉 委員長

前田 博志君	小池先生、ありがとう。
黒澤 明男君	誕生祝、頂きありがとうございます。
小池平一郎君	昨日、高岡まで 500 km 走って来ました。二男が高岡で動物病院を開業するので身に行ってきました。地区大会報告は端折ります。
中河 邦忠君	誕生祝、頂きありがとうございます。
掛川興太郎君	誕生祝を頂きました。ありがとうございます。

小林 秋生君	誕生祝、結婚祝、皆勤祝ハットトリックのお祝いを戴きました。これからも気力の続く限り頑張りたいと念じています。
橋詰 希望君	ラッキー賞、自分で引いて自分に当たりました。ラッキーです。地区大会は町内会の研修で失礼しました。
望月 完君	結婚祝、ありがとうございます。これからも仲良く生活できればと思っています。今後も頑張ります。地区大会に参加してとても楽しかったです。

【本日のプログラム】 『地区大会報告』



黒澤 明男 会員

本年度の国際ロータリー第 2600 地区大会は、古川静男地区ガバナーのもと、10月26日～27日、松本市の「ホテルブエナビスタ」と「まつもと市民芸術会館」にて松本ロータリーがホストとして開催されました。

第1日は会長・幹事会、続いて本会議が行われ、その後地区指導者研修会は第2750地区元ガバ

ナー、東京飛火野ロータリークラブ水野功さんの「ロータリーを楽しみ地区・クラブ会員基盤を強化しましょう！」講演を開きました。水野さんの所属クラブの名称は日野市の旧名多摩郡石津郷飛火野から名付けられたとのことでした。話しの中で印象深かったものは

- ・ロータリーにおいて役職は断らない。なぜなら単年度、一年だから一年ガマンする。ロータリーは「イエス」と「はい」しかない。
- ・ロータリーは奉仕団体 どこが他の奉仕団体と違うの。
- ・寄付は「第2の奉仕」浄財が未来へのプレゼントとなる。
- ・来年はロータリー100周年、これを機会にロータリーは変えるべきもの、変えてはいけないものを考える。

その後、6時より、RI 会長代理をお迎えしての歓迎晩餐会は多くのロータリアンと知り合いになり、友情を深め人脈を広げられた楽しい会でありました。



鴨下 直哉 会員

舞の海 秀平(まいのうみ しゅうへい、1968年2月17日 51歳)出羽海部屋所属。現役引退後は、NHK 大相撲専属解説者タレント、スポーツキャスター 本名は長尾 秀平(ながお しゅうへい)平成の牛若丸。現在の体格は身長 169cm、体重 85kg。血液型 B 型関取時代の体格は身長 171cm、体重 101kg。最高位は東小結。関取時代は「平成の牛若丸」。家族構成は妻、妻の連れ子 2人、実子 1人。妻となった女性は出会った当時バツイチで 2人の子供がおり、「夜の仕事」をしていた。

講演のテーマは「決してあきらめない」「夢は必ずかなう」「可能性への挑戦」「小よく大を制す」。まさに、舞の海氏の人生そのものを表した言葉ばかりです。「決してあきらめない」「夢は必ずかなう」は新弟子検査の際、頭頂部にシリコンを入れて、当時の規定である 173cm に満たない身長を補ってまで、大相撲の世界に飛び込もうとした有名なエピソードに表れています。絶対に夢を実現する、あきらめないという確固たる信念があったからです。

「可能性への挑戦」とは、学生相撲として歩んできた実績が大相撲の世界でどこまで通用するのかを試したいという意

欲の表れです。

小学校から大学まで相撲に取り組んでいましたが、大学卒業時には高校の教諭に内定していました。そんな時、相撲部の後輩が20歳で、突然病死しました。ご両親の「これから、やりたい事があつたはずなのに」という言葉を聞いて、自分を見つめ直しました。自分のやりたい事は相撲への挑戦でした。しかし両親や大学相撲部の監督は大反対でした。そんな小さな体では、無理に決まっていると言われましたが、あきらめませんでした。新弟子検査では、規定の173センチに4センチ足りず、美容整形で頭にシリコンを入れて、大変な思いをしてやっと合格しました。番付が上がるにつれ、巨漢力士の小錦や曙と対戦するようになりました。稽古では全く歯がたちません。本音は怖くてやりたくない相手です。大きい人にも必ず弱点があり、小さい人にも長所があります。小兵力士ほど、作戦を考えたと思います。発想をかえ、あきらめずに考えた結果が出た時は、本当にうれしかったです。最後まで諦めないということです



小池平一郎 会員

先日の地区大会の報告は参加者全員がするというので、RI会長代理の永野巧氏の話と記念講演の舞の海秀平さんの話と松商学園トワリングバトン部の話は誰かがなさると思いますので、私は米山記念奨学生で講演した「王莉莎」さんの話で、非常に感銘を受けたこととお話します。

2年前の地区大会で小諸浅間RCでお世話した李奇菊さんが「ホームカミング奨学生」として素晴らしい講話をして下さった様に、王さんは日本のロータリアンから応援を戴いた恩を決して忘れず日本と中国の懸橋になる様、幸い日本で榎山工業(株)に就職できたので、自分の経験と能力を生かして両国の仲をとりもてる様な活躍が出来ればと話していたことに深い印象を受けました。

また、各表彰では会長特別賞を受けた佐久RCは当然かとも思いましたが、蓼科RCが会長特別賞ゴールドに輝いたのは素晴らしいと思いました。個人の表彰で黒澤明男さん(20年在籍)・矢島栄一さん(PHF)・美齊津 明さん(新米山功労者)・加藤輝男さん(マルチプル米山功労者)そして小林秋生さん(米山功労者メジャーダー)に名前があつたのは大変嬉しかったです。



小林 秋生 会員

去る10月27日、松本市民芸術館で開催された地区大会に参加して参りました。毎期、地区大会・IMなどには欠かさず参加をしておりますが、私にとって1日、日常を離れ、バスで日帰り旅行をする楽しい時間なのであります。バスの窓辺を移り行く景色を眺めながら頭の中を空っぽに出来る感覚の切り替えが何とも楽しく、隣人と他愛もない四方山話を交すのも楽しい。

会場で、他クラブの知人と挨拶を交すのも楽しい。用意された記念講演も、今回は舞の海さんの大相撲の四方山話が、仲々の面白さでありました。皆さんも、是非都合をつけて参加致しましょう。

週毎の例会も楽しくなければなりません。言わば、地区内のお祭りを楽しまない手はないと思います。これから楽しみに参加を続けたいと思っています。



望月 完 会員

2019年10月26日、27日にホテルブエナビスタ 松本市民芸術館において国際ロータリー第26000地区大会2019-2020が盛大に開催されました。私は27日のみの参加でした。

先ずは会場に感動しました。入口からの幅広く緩やかな階段、何かのステージに上るような高揚感、そして会館内部の観客席の臨場感等があり大変素晴らしかったです。このような素晴らしい会場を手配下さった松本ロータリークラブの皆さんに感謝申し上げます。

私は今年の2月にロータリアンの仲間に入れて頂いた新参者であります。ロータリーとい組織がよく理解しておりませんでした。(何々ガバナーとか)今回の参加により完全ではありませんが、様々なガバナーのことを理解できました。次期地区ガバナーその次の地区ガバナーまで決まっていることに改めて凄い組織であることに驚きました。

昼食後、睡魔が襲ってきました。そこに現れた救世主、松商学園高等学校トワリングバトン部の皆さんです。全国大会に向けてのしなやかな演技とても綺麗に揃っており素晴らしかったです。その後青少年活動報告会、米山記念奨学生のオウ リサさんによる感謝の講演等とロータリークラブの活動が地域、世界に活かされていることも学ぶことができました。

終盤には記念講演として元大相撲小結である舞の海さんによるゆっくりと流暢な口調でのユーモア溢れる講演を拝聴しました。講演の途中観客で携帯電話が鳴ってしまった時も嫌な顔もせず『携帯電話はマナーモードをお願いします。』と絶妙なタイミングで観客より笑いを取っていました。その時の「間」と「余裕」を見習いたいと感心しました。

1日しか参加できませんでしたが新米の私にはとても有意義に学ぶことができました。以上が私の地区大会の報告となります。



両川 博之 会員

10月27日(日)国際ロータリー2600地区大会2日目に参加して来ましたので報告します。小諸RCからは、6名 小諸浅間RCからは、8名で参加しました。小諸浅間RCにつきましては、前日1日目からの参加は、前田会長、黒澤幹事の2名になりました。やや小雨模様の曇り空の中、7時30分にバスにて小諸駅を出発し、会場である(まつもと市民芸術館)に向かい出発しました。現地到着後、黒澤幹事が受付手続きを終わらせてくれた

ので、早速本会議場へ入りました。会場となる(まつもと市民芸術館の大ホール)は、3、4階席位まである素晴らしい会場でした。

午前中は、9時30分より本会議になり、古川静男2600地区ガバナーによる、開会の点鐘で始まり、各ガバナー、来賓の紹介挨拶等がありました。来賓は長野県知事(代理出席)、松本市長(代理出席)、松本商工会議所会頭(本人出席)でした。つづいて、各委員会報告があり、地区大会決議として第1号議案～8号議案が満場一致で承認されました。その後各種表彰、地区ガバナーの感謝の言葉、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、の挨拶があり 午前中の本会議が終了しました。

昼食、休憩をとった後、午後からは一般市民も参加し、アトラクションとして、松商学園高校のトワリングバトン部の演技を鑑賞しました。その後、13時より青少年アワーとして各米山奨学生による、活動報告等があり、最後に、大相撲解説者の舞の海秀平氏による、「可能性への挑戦」と題した講演会が開かれました。新弟子検査の時のエピソードや、現役時代を振り返った話で大変楽しい90分の講演でした。

講演終了後、バスに集合し一路小諸へと帰ってきました。



矢島 栄一 会員

地区大会が行われたまつもと市民芸術館へ行くのは2度目となりますが、メインホール観客席の設備の素晴らしさを改めて味わってきました。

今回の地区大会で印象に残ったものと言われれば、やはり舞の海の記念講演「可能性への挑戦」という方が多いのではないかと思います。本人曰く「本日のテーマはともかく、今日お話しするのは相撲のことだけです。決して皆さんのためになるような話ではありません。

これは何も私が悪いわけではなく、私を選んだロータリー主催者側のミスですから、決して私を恨まないでください。」

といった自虐的な内容で始まり、胸にしみこんでくる淡々とした語り口で一遍に観客の心を捉えてしまいました。

話しの大半がどちらかというと相撲の裏側を面白おかしく語るという内容で、その場ではつつい笑ってしまうまことに楽しい話しですが、本人も言っていた通り後々ためになるような内容ではありません。ただ、相撲の歴史の下りはとくに興味深く聞かせていただき、丁髷を残した理由をはじめ、なるほどと思わせる内容は印象に残りました。

次にインパクトがあったのは、松商学園トワリングバトン部の演技でした。さすがに今年のダンスドリル選手権冬の大会で全国3位、夏の大会ミリタリー部門全国2位の実力は見ごたえがあり、日頃の練習がいかに厳しいものが窺える見事なパフォーマンスでした。

あとはローターアクトの活動でも改めて感心するところがいくつもありましたが、当クラブでは支援の足りない分野であり、支援クラブに対して頭の下がる思いを強く感じました。



次週のプログラム:

11月12日 「RLIについて」

第2600地区RLI委員長

作田永子氏

次々週のプログラム:

11月19日 「卓話」

小諸市議会議長 竹内健一氏